

建設経済常任委員会行政視察研修報告書

建設経済常任委員会では、令和6年5月23日（木）に芳賀・宇都宮 LRT 事業を視察して参りました。参加者は小堀 勇人委員長、岡村 浩雅副委員長、加藤 朋子委員、高瀬 一徳委員、委員外議員として永井 孝叔議員、落合 千枝子議員、加藤 誠一議員、執行部職員12名、及び事務局職員2名です。

○「芳賀・宇都宮 LRT 事業」について

LRT は従来の路面電車と比べ、高いデザイン性（2023年度グッドデザイン賞特別賞受賞）を備え、騒音や振動が少なく、乗り心地が快適であるとともに、二酸化炭素排出量が低減されるなど、次世代を見据えた人と環境に優しい公共交通である。芳賀・宇都宮 LRT は、宇都宮市の進めるコンパクトなまちが公共交通でつながったネットワーク型コンパクトシティのまちづくりの基軸として着実に計画を進め、令和5年8月26日に開業した。



本事業は、宇都宮市東部地域に立地する工業団地への通勤者の増加による慢性的な交通渋滞の社会問題化に伴い、栃木県と宇都宮市の出資により設立された宇都宮市街地開発組合が、平成5年度に新たな交通システムを検討したことに始まる。この度開業を迎えたが、開業まで約30年、建設に5年を要した。

開業直後1ヶ月の乗降客が39万9千人、今年の4月にはこれを更新し42万1千人に達した。宇都宮市は、LRTによる経済効果は約900億円と見込んでいる。また、ゆいの杜には新設の小学校が開校し、LRT沿線（駅東側）の人口は10年間で約4,900人増えている。開業から7ヵ月の決算では約5,700万円の黒字となっている。平石から宇都宮駅東口まで乗車した。

参考になる点

○LRTは魚で言う、背骨にあたり、交通結節点（トランジットセンター）からはバス、乗用車、地域内交通・デマンド交通、自転車の乗り換えることができ、まさに交通の要である。

- トランジットセンター駐車場は無料で、センターまで乗用車、そこから LRT といった通勤が可能。
- LRT の電力は、家庭ゴミの焼却や家庭太陽光等により発電された地域由来の再生可能エネルギー 100% を使用。
- 地域連携 IC カード「totoro」の導入（2% の交通ポイント付与）

改善点

- 多額の事業費（LRT の事業費 684 億円、国庫補助 326 億円、市町負担 358 億円）
- 必ずしも交通渋滞解消になっていない

執行部への提案

- 現在では様々な形での公共交通が可能である（デマンド、路線バス、LRT、グリーンスローモビリティ等）、本市において最も効果的かつ安価で住む公共交通のあり方について情報し、実行すること。